

平成22年度

富山県高齢者等生活意識実態調査報告書

(概要)

平成23年3月

富 山 県

高齢者等生活意識実態調査結果の概要

1 調査の概要

- (1) 趣 旨 第5期(H24～26)の高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画策定に向け、高齢者の生活実態、介護サービスのニーズ等に関する調査を行うもの。
- (2) 調査対象 無作為抽出の高齢者等 3,000 人
(40～64歳、65～74歳、75歳以上各 1,000人)
- (3) 調査方法 アンケート郵送方式
- (4) 調査期間 11月18日～11月26日
- (5) 回答数(率) 1,606人(53.5%)うち65歳以上1,119人(56.0%)
- (6) 調査実施機関 株式会社 ジェック経営コンサルタント

2 結果の概要(65歳以上の高齢者について)

<主なポイント>

仕事や経済の状況

- ・全体の28.8%が「仕事をしている」が、「ひとり暮らし」の場合は17.3%と低くなっている。
- ・「生活にゆとりがない」(「あまりない」を含む)は高齢者全体で37.4%であった。
「ひとり暮らし」の場合は39.7%と、ゆとりのない割合がやや高くなっている。

健康面や孤立などの状況

- ・健康状態は約7割が「良い～普通」であったが、「ひとり暮らし」では、良くない傾向が半数近くに上っている。他方、「高齢者夫婦のみ」では、健康状態が良い傾向にある。
- ・孤立感を「かなり感じる」、「ある程度感じる」人は23.0%であった。
「ひとり暮らし」では47.4%と半数近くに上っているが、「高齢者夫婦のみ」では17.9%と、他の世帯区分よりも低くなっている。

余暇や社会活動の状況

- ・「余暇の過ごし方」は、「テレビ・新聞」が約7割、次いで「のんびり過ごす」が約4割、「友人との交際」が約3割であった。
- ・「地域との交流(近所づきあい、町内会等)」については、約6割が「参加」している。

介護・介助の現状

- ・約1割の高齢者が「介護・介助を受けて」おり(9.8%)、介護者は「配偶者」(34.1%)が最も多いが、次いで「息子」(15.9%)が多くなっている。
- ・介護者も65歳以上である、いわゆる「老老介護」は46.5%と半数近くとなっている。
- ・介護者の約6割が「介護に伴う支障・制約がある」としており、「気持ちのゆとりがなくなった」(63.8%)、「自分の時間がもてない」(44.8%)、「体調をくずした」(27.6%)人が多くなっている。

ニーズ・今後の課題

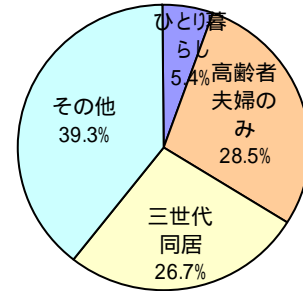
- ・「自分に介護が必要となった場合」、53.4%が「住み慣れた自宅や地域」を希望している。なお、約3割は、「判断は家族に任せる」としている。
- ・「自分に介護が必要となった場合」に「特養等に入所したい」は9.5%であったが、他方、「現在介護している」人は、「家族に介護が必要となった場合、特養等に入所させたい」が20.6%となっており、割合は高くなっている。
- ・「小規模多機能(泊り、通い、訪問一体型)」、「医師等の訪問」の充実を求める声が多い。
- ・「高齢化社会における重点課題」としては、「必要なときに介護サービスが利用できる体制づくり」、「地域での支え合い」、「人材育成」をあげる人が多くなっている。
- ・「地域包括支援センター」を知らない人が半数を超え、認知症相談窓口は約7割、「虐待相談窓口」は約8割の人が知らないと回答しており、さらなる普及啓発が必要である。

(1) 本県の高齢者の世帯状況

・ひとり暮らし高齢者は、65歳以上高齢者の回答者全体の5.4%、高齢者夫婦のみの世帯は28.5%、三世帯同居は26.7%となっている。
 *ひとり暮らし高齢者は、75歳以上が65.5%を占め、年齢が高くなっている。
 *地域別では、新川地域では他の地域よりもひとり暮らし世帯の割合が高く、富山地域では高齢者夫婦のみの世帯の割合が高い。また砺波地域では三世帯同居が多い。

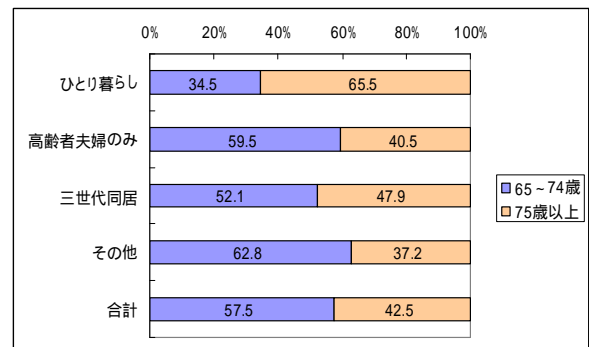
(構成比)

	回答数	構成比
ひとり暮らし	58	5.4%
高齢者夫婦のみ	304	28.5%
三世帯同居	284	26.7%
その他	419	39.3%
合計	1,065	100.0%



(年齢別)

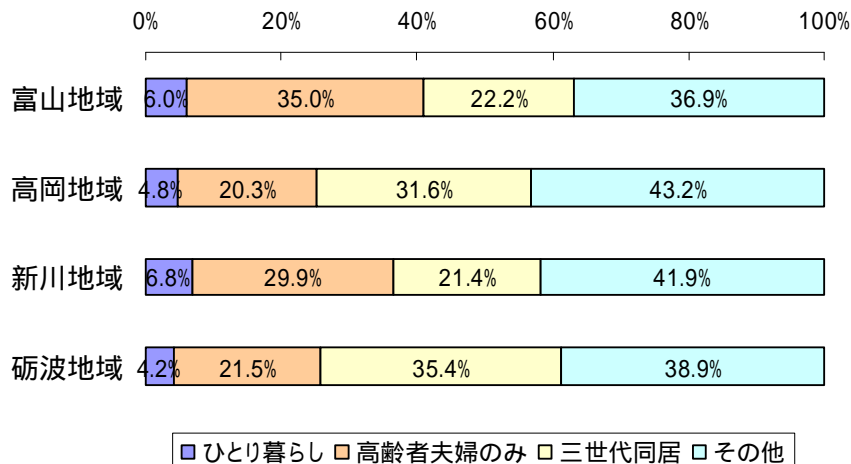
	回答数	65~74歳	75歳以上
ひとり暮らし	58	34.5%	65.5%
高齢者夫婦のみ	304	59.5%	40.5%
三世帯同居	284	52.1%	47.9%
その他	419	62.8%	37.2%
合計	1,065	57.5%	42.5%



(地域区分別)

	回答者	富山地域	高岡地域	新川地域	砺波地域
ひとり暮らし	57	6.0%	4.8%	6.8%	4.2%
高齢者夫婦のみ	293	35.0%	20.3%	29.9%	21.5%
三世帯同居	278	22.2%	31.6%	21.4%	35.4%
その他	412	36.9%	43.2%	41.9%	38.9%
合計	1,040	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

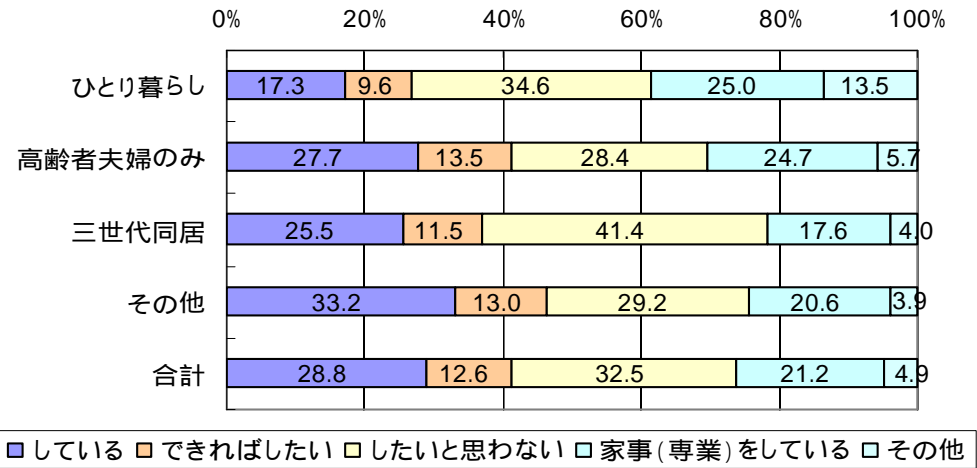
世帯区分 (地域区分別)



(2) 仕事や経済の状況

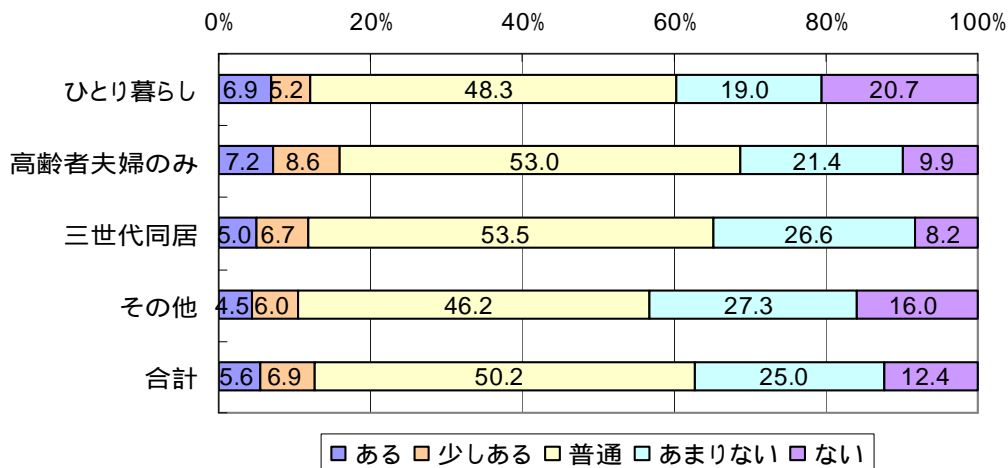
・ 仕事をしている人は28.8%、していない人は71.2%であった。
 * 「仕事をしている」人は、「ひとり暮らし」では17.3%、「高齢者夫婦のみ」では、27.7%と、全体よりも割合が低くなっている。

あなたは、現在、収入を伴う仕事がありますか。(1つだけ)(問1)



・ 生活にゆとりがある人(「普通」を含む)は62.7%、ない人は37.4%であった。
 * 「ない」人の割合をみると、「ひとり暮らし」では39.7%で高くなっているのに対し、「高齢者夫婦のみ」では31.3%と、全体よりも低く比較的ゆとりがある世帯が多い。

あなたの家庭は、現在、経済的なゆとりがありますか。(1つだけ)(問2)

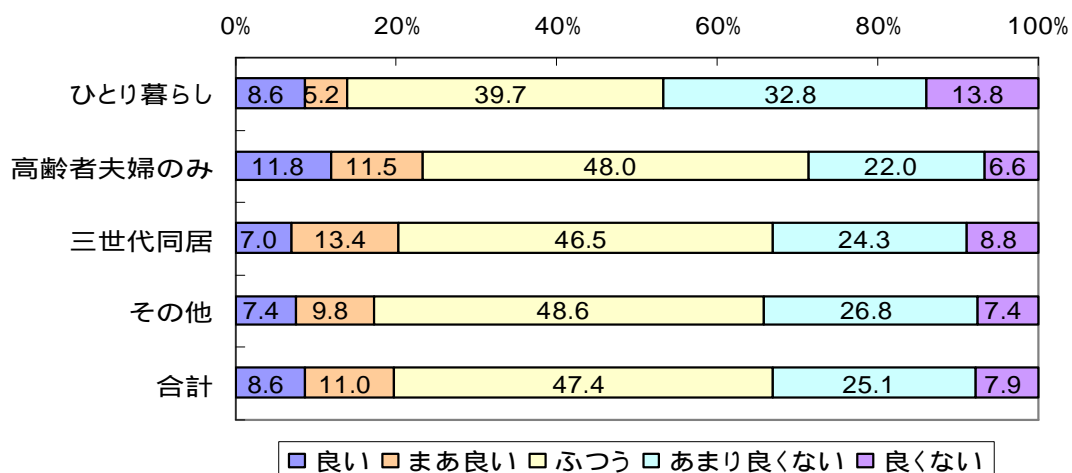


(3) 健康面や孤立などの状況

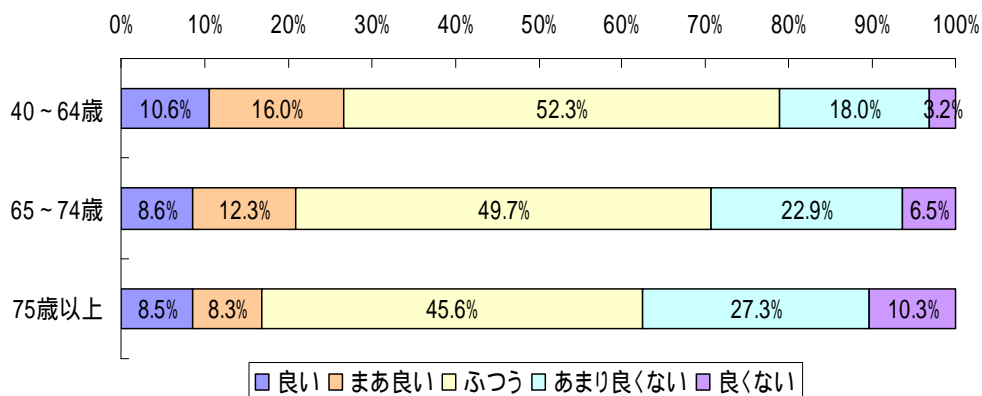
- ・健康状態が「良い～ふつう」は67.0%、「良くない～あまり良くない」は33.0%であった。
- * 「ひとり暮らし」では、「良くない～あまり良くない」は46.6%で、半数近くに上っている。
- * 高齢者夫婦のみ世帯では、他の世帯区分に比べ健康状態が良い傾向にある。
- * 年代が高くなるにつれ、「良くない～あまり良くない」の割合が高くなる傾向がある。

あなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)(問3)

・世帯区分別(高齢者のみ)

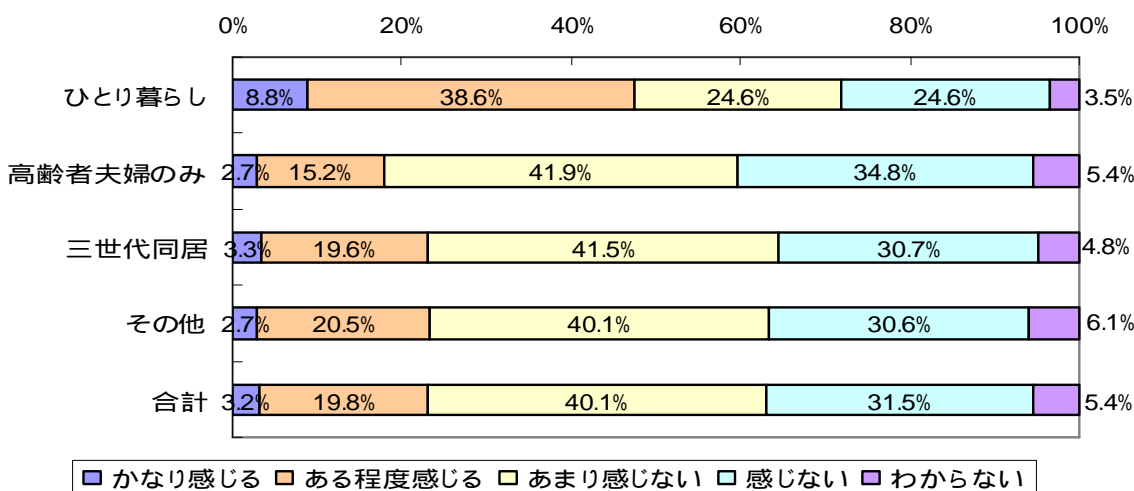


・年齢別(全体)



- ・ 孤立感を「かなり感じる」は3.2%、これに「ある程度感じる」を加えると23.0%、他方、「感じない」「あまり感じない」は合わせて71.6%であった。
- * 「ひとり暮らし」では孤立感を「かなり感じる～ある程度感じる」人の割合が47.4%と、半数近くに上っている。
- * 「高齢者夫婦のみ」では17.9%と、他の世帯区分よりもやや低くなっている。

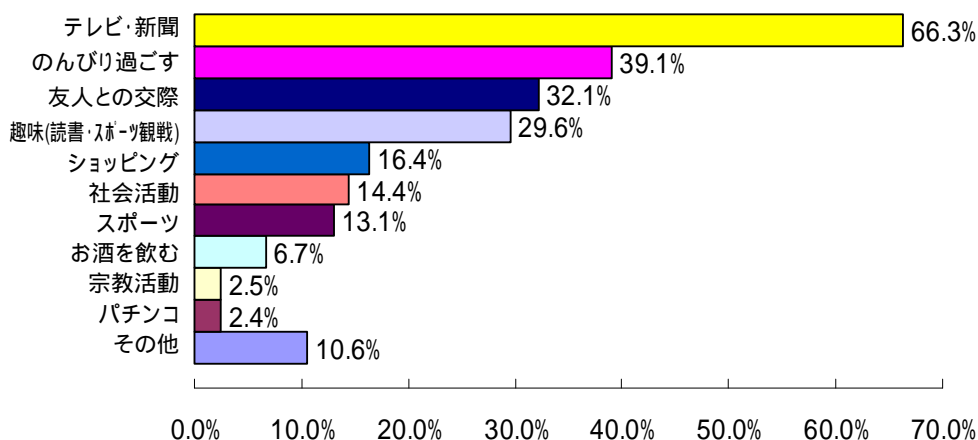
孤立感を感じることがありますか。(1つだけ)(問8)



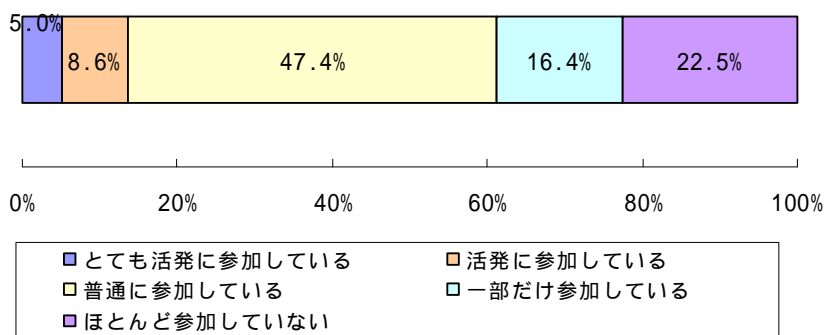
(4) 余暇や社会活動の状況

- ・ 余暇の過ごし方をみると、「テレビ・新聞」が66.3%が最も多く、次いで「のんびり過ごす」が39.1%となっている。
- ・ 地域との交流(近所づきあい、町内会等)については、「とても活発に参加している」「活発に参加している」「普通に参加している」をあわせると、61.0%となっている。

あなたは余暇を主にどのように過ごしていますか。(3つまで)(問11)



あなたは、地域との交流（近所づきあい、町内会等）をしていますか（１つだけ）（問 19- ）



(5) 介護・介助の現状

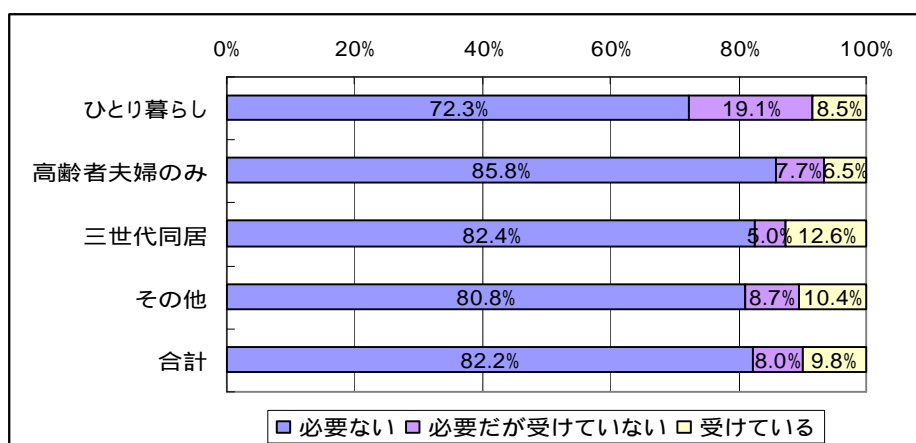
・ 普段の生活で介護・介助を受けているかについてみると、「必要ない」が 82.2%、「受けている」が 9.8%、「必要だが受けていない」が 8.0%である。

* 「必要だが受けていない人」をみると、「ひとり暮らし」では 19.1%、「高齢者夫婦のみ」では 7.7%、「三世帯同居」は 5.0%と、「ひとり暮らし」における割合がかなり高くなっている。

* 介護・介助をだれから受けているかをみると、「配偶者」が 34.1%、「息子」が 15.9%、「娘」が 13.6%、「息子の配偶者」が 12.5%である

* 介護者の年齢をみると、「64 歳以下」が 35.2%、「65～74 歳」が 25.0%であり、「75～84 歳」17.0%、「85 歳以上」4.5%を加えると、65 歳以上が 46.5%となっている。

介護・介助を受けていますか（問 20）



あなたは、主にどなたから介護・介助を受けていますか。(1つだけ)(問 22)

	回答者	配偶者	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	誰も いない	その他	無回答
ひとり暮らし	4	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%
高齢者夫婦のみ	17	64.7%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%
三世同居	30	23.3%	23.3%	13.3%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
その他	37	32.4%	13.5%	18.9%	5.4%	0.0%	2.7%	10.8%	16.2%
合計	88	34.1%	15.9%	13.6%	12.5%	0.0%	4.5%	4.5%	14.8%

あなたを主に介護・介助している方の年齢はいくつですか。(1つだけ)(問 22-2)

	回答者	64歳以下	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
ひとり暮らし	4	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
高齢者夫婦のみ	17	11.8%	35.3%	29.4%	5.9%	17.6%
三世同居	30	46.7%	26.7%	10.0%	3.3%	13.3%
その他	37	37.8%	21.6%	16.2%	5.4%	18.9%
合計	88	35.2%	25.0%	17.0%	4.5%	18.2%

- ・高齢者では、現在介護をしている人は、11.2%、「以前はしていたが、現在はしていない」が28.6%となっている。「したことがない」は60.2%であった。
- ・介護の相手方は、「配偶者」が51.6%、「自分の親」が22.1%、「配偶者の親」が11.6%の順となっている。
- ・介護をしている人の約6割が「介護に伴う支障・制約がある」としており、具体的には、「気持ちのゆとりがなくなった」が63.8%、「自分の時間がもてない」が44.8%、「体調をくずした」が27.6%となっている。
- *「ひとり暮らし」では、「経済的に苦しい」が66.7%、「高齢者夫婦のみ」では「気持ちにゆとりがなくなった」が56.3%と高くなっている。

あなたは、介護・介助により何らかの制約や支障がありましたか。(ある場合は3つ)(問 12)

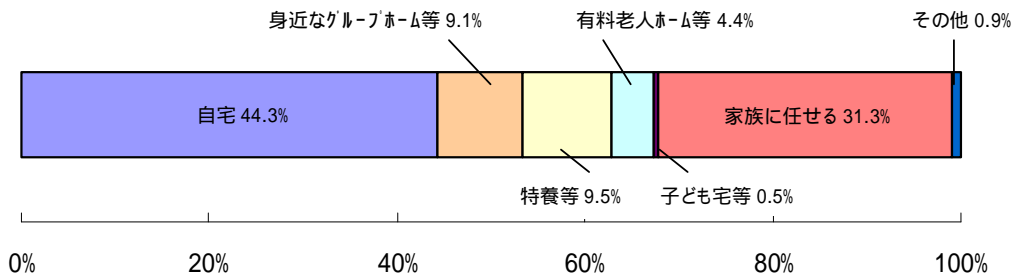
	回答者	特 に ない	あ る	ありの内訳								
				仕 事 を や め た	仕 事 を 常 勤 か ら パ ー ト に 変 え た	休 職 し た	転 職 や 休 職 が 必 要 な 状 況 に な っ て い る	経 済 的 に 苦 し い	も て な い 自 分 の 時 間 が	気 持 ち に ゆ と り が な く な っ た	体 調 を く ず し た	そ の 他
ひとり暮らし	5	40.0%	60.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
高齢者夫婦のみ	30	46.7%	53.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	50.0%	56.3%	37.5%	6.3%
三世同居	26	57.7%	42.3%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	36.4%	36.4%	27.3%	0.0%
その他	36	22.2%	77.8%	0.0%	3.6%	3.6%	3.6%	14.3%	46.4%	82.1%	21.4%	3.6%
合計	97	40.2%	59.8%	10.3%	1.7%	1.7%	1.7%	17.2%	44.8%	63.8%	27.6%	3.4%

(6) ニーズ・今後の課題

- ・高齢者は、自分に介護が必要となった場合、53.4%が「住み慣れた自宅や地域のグループホームなどでの生活」を希望している。
 - * 「特養等」への入所希望は9.5%となっている。
 - * また、約3割は、自分の意思よりも家族の意向を重視している。
- ・介護をしている側の人(40歳以上)の「家族に介護が必要となった場合」の希望は、「自宅や住み慣れた地域」が69.1%と最も高い。
 - * 一方、「特養等へ入所させたい」は20.6%であり、高齢者の「特養等」の希望よりも率が高くなっている。

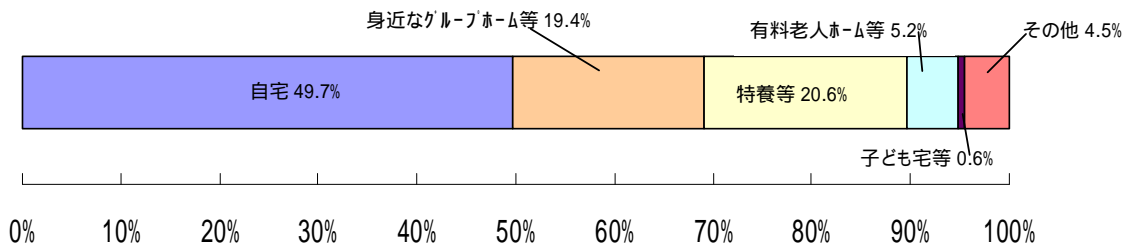
(65歳以上の高齢者の場合)

自分が介護を受ける場合、どのような生活を望みますか。(1つだけ)(問15)



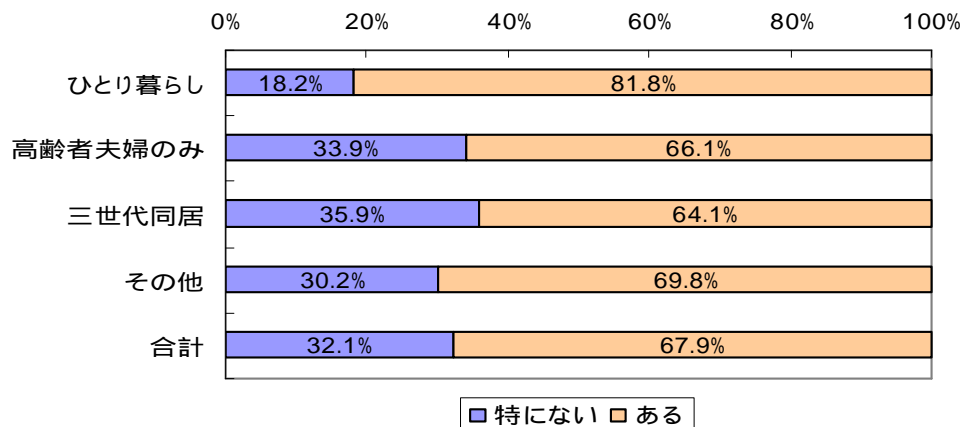
(40歳以上で介護をしている人の場合)

家族等に介護が必要となった場合、どのような生活を望みますか(1つだけ)(問16)



- ・困りごとや不安についてみると、「ある」が67.9%と、約三人に二人が困りごとや不安がある。
 - * 「ひとり暮らし」では「ある」との回答が81.8%と、他の世帯区分よりも割合がかなり高い。

あなたが現在困っていることや不安なことは何ですか。(3つまで)(問9)

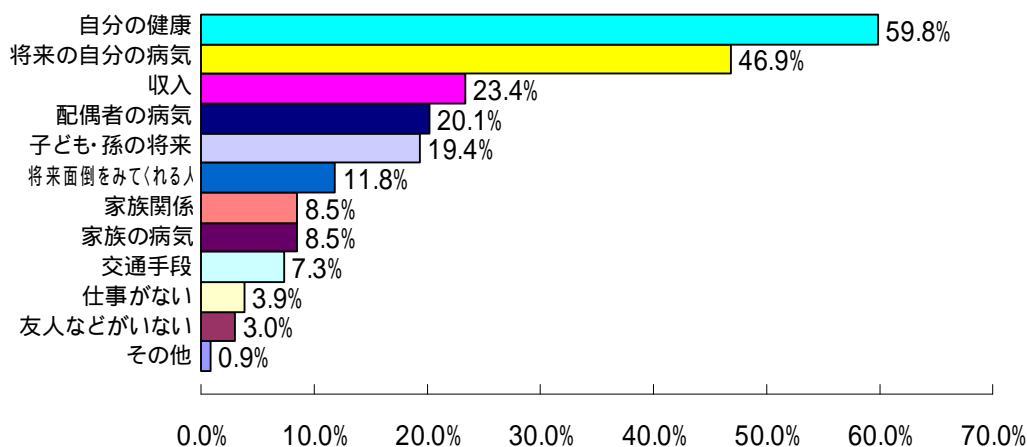


・困りごとや不安の内容は、「自分の健康・体力」59.8%、「将来の自分の病気・介護」46.9%が多くなっている。

* 「ひとり暮らし」では、「将来の自分の病気・介護」が64.4%で最も高かった。

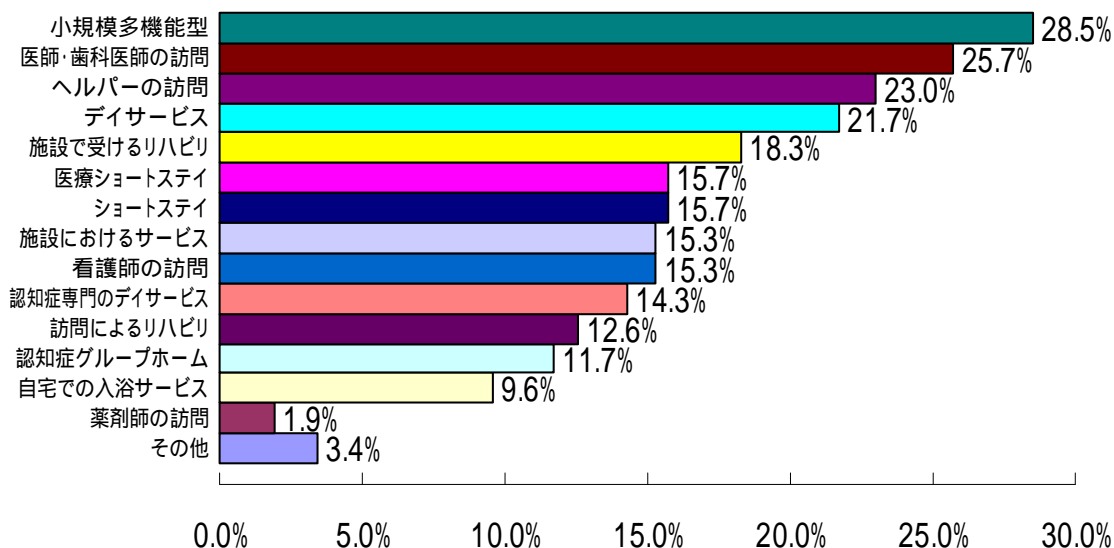
* 「高齢者夫婦のみ」では、「自分の健康・体力」が59.6%が最も高く、また「配偶者の病気・介護」は26.9%であった。

あなたが現在困っていることや不安なことは何ですか。(3つまで)



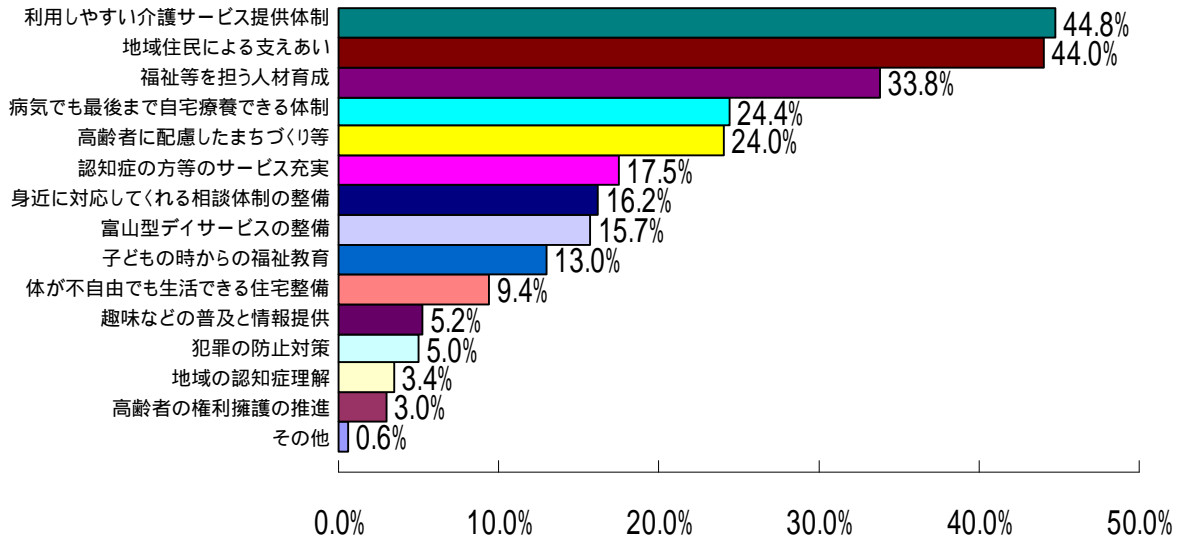
・内容を充実させることが必要だと思う介護サービスを見ると、「小規模多機能型居宅介護（泊り・通い・訪問一体型サービス）」が28.5%、「医師・歯科医師の訪問」が25.7%、「ヘルパーの訪問」が23.0%となっている。

あなたがこれからもっと内容を充実させることが必要だと思う介護サービスは何ですか。(3つまで) (問13)



・「高齢社会の課題」としては、「必要なときに介護サービスが利用できる体制づくり」が44.8%、「地域での支えあい」が44.0%、「人材育成」が33.8% などとなっている。

本格的な高齢化社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で安心して生き生きと生活するために、重要だと思われる取組みを選んでください。(3つまで)(問18)



・行政の支援体制等については、「地域包括支援センター」を知らない人が半数を超えるなど、知らない人のほうが多い。

* 「知らない」と答えたのは、「地域包括支援センター」が55.4%、「介護予防の取組み」が65.3%、「認知症相談窓口」が68.7%、「高齢者虐待相談窓口」が76.5%となっている。

表17 行政の相談窓口や取組み等をご存知ですか(問17)

